発行者　友愛育成園
電　話　096-325-5736
ﾌｧｯｸｽ　096-325-5755
ＵＲＬ　http//www.ikuseien.com
写真は許可を得て掲載しています。
転用は、ご遠慮下さい。

ゆうあい

令和3年12月号通巻208号
令和3年11月30日発行

世界的な邪魔が入り
1ページにやむなく減量

10、11月の出来

10月 9日　作業日
23日　作業日
11月10日　ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ予防接種
13日　作業日
27日　作業日

生活介護の様子

ＤＭ封入、フルーツキャップ折り返し、ふた合わせ、体力づくり、秋のぬりえを行いました。

就労継続支援Ｂ型の様子

ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｹﾐｶﾙさん、河田印刷さん、富士甚醤油さん、山内本店さん、釜屋さん、チューインさん、オニオンさん、お菓子の香梅さんより作業を受注しました。自主製品は、展示・商談会の準備を行いました。

12、1月の予定

12月11日　作業日
25日　作業日
1月 8日　作業日
22日　作業日

12月2日は2年ぶりの開催　障がい者福祉施設商品等展示・商談会

２年越しに県庁にて「障がい者施設商品等展示・商談会」が開催されます。園からも出店しますので、お時間のある方は、どうぞ観覧に見えられて下さい。

期日　令和３年１２月２日(木)

時間　１０：００～１５：００

場所　県庁プロムナード、本館地下大会議室

令和元年度の様子

職員一行月記「私事で恐縮です」

✎寒いのは苦手です...。【K】

✎もう少しが…【吾】

✎身体にムチ打って・・・(*^o^*)【☆】

✎今が未来に繋がる!!【レバー】

✎元気一発【喬之介】

✎寒さに負けずに頑張るぞ！【E】

今年、最終の「ゆうあい」でした。
少し早いですが、よいお年をお迎えください。

坂本がざれごとをつれづれと「戯れ言徒然」第一六六言

「私論、うまい米論」

今年もコロナ禍ながら、新米の季節がやってきました。おそらく、０才から食べたとしたら五十七回目の新米を、おいしく頂くことができました。

先日、ニュースでやっていた九州のうまい米の話題。第５回を数える「九州のお米食味コンクール」でグランプリを取ったのは、多良木町産の米でした。ここがポイントです。九州で米どころと呼ばれるところは多々ありますが、多良木は聞いたことがありません。ここからは、私の勝手な私論を展開します。

①大きな河川のそばではなく、山間部から取水する。
②水田の水の成分が、普段飲んでいるものに近い。
③同じ水田、または近い地域からとれたものを炊く。

①の理由は、他からの生活排水などが流れ込まず、水がきれいなこと。②の理由は、味が体質に慣れているので不快さを感じないかと思います。③の理由は、地域を限定すると比較的に天候が同じ場所で同じ育ち方をしているので、米の時点での水分量や炊くときの水の含み方が均一になりやすいと思います。

ただ、私がこの状態で食べているので、良いのかなと思っている程度のことです。あと、忘れてはならないのが炊飯器の進化。米食文化圏の日本土産で、店から商品が無くなるくらいおいしいのですから。そりゃ「かまどのご飯が：」とおっしゃる方は間違いないですが、今、日本の家にどれくらいのかまどがあるのか？

（今回の戯れ言は、ブレンド米を否定するものではございません。）